

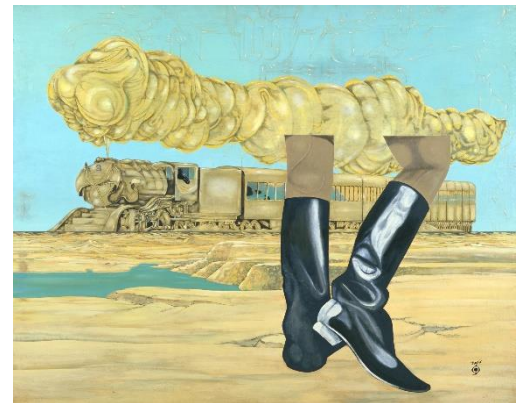


## 千代田区内ミュージアム連携企画 展覧会への入口講座 Vol.34 軌跡と筆跡をたどる旅—美術は「鉄道150年」をいかに表現したか

1872年、新橋—横浜間に日本初の鉄道が開業してから今年で150年を迎えます。一方、美術という言葉が日本で使われ始めたのも150年前のことでした。

鉄道と美術はともに近代日本の黎明期に生まれ、ときに意外なかたちで関係しながら150年の時を歩んできました。いつの時代も、鉄道は美術に想像力やインスピレーションを与え、美術は鉄道の知られざる側面を描き出してきました。

本講座では、さまざまな作品を読み解きながら、鉄道150年の歴史を美術という視点から振り返ります。



中村宏《ブーツと汽車》1966年、名古屋市美術館

### 講師 若山 満大 (東京ステーションギャラリー学芸員)

1990年岐阜県養老町生まれ。展覧会「鉄道と美術の150年」担当学芸員。専攻は日本近現代美術史・写真史。愛知県美術館学芸員、あいちトリエンナーレ2016キュレトリアルチーム、アーツ前橋学芸員などを経てフリーランスとして活動後、現職。主な企画展に「台風と秩序」(スタジオ35分、東京、2018)、「写真的曖昧 The blur in photographs」(金沢アートグミ、2018)など。共編著に『Photography? End? 7つのヴィジョンと7つの写真的経験』(magic hour edition、2022)がある。

### 開催概要

- 日時：11月18日(金) 19:00~20:30 (18:30開場)
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名(事前申込順、定員に達し次第締切)
- 参加費：1000円(千代田区民500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。)
- 申込方法：ホームページのお申し込みフォーム、電話(03-3502-3340)いずれかにて、①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号(「お申し込みフォーム」からの場合は④メールアドレス)をご連絡ください。

### 〈お問い合わせ先〉

千代田区立日比谷図書文化館 広報担当：並木 namiki-yuri@shopro.co.jp、岡本 okamoto-yoriko@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 TEL:03-3502-3340/FAX:03-3502-3341

ホームページ：<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>